

ハスモンヨトウのフェロモントラップ誘殺数が急増しています

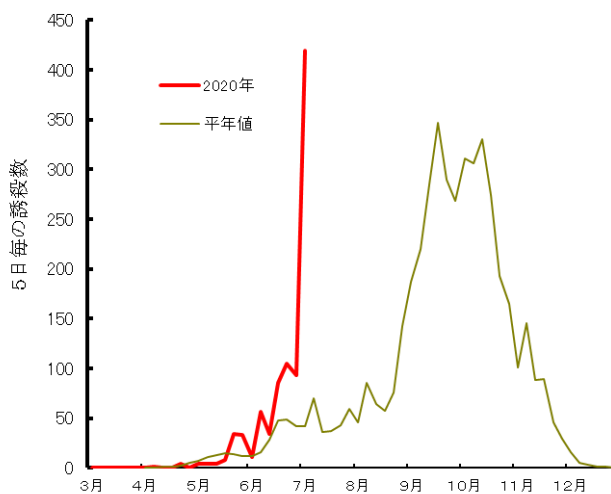
1. 対象作物： ダイズ、野菜類（イチゴ、サトイモ、アブラナ科野菜など）、花き類（キクなど）
2. 対象病害虫名： ハスモンヨトウ
3. 発生状況と今後の予測

県予察圃（松阪市嬉野川北町）におけるフェロモントラップ誘殺数は、7月第1半旬で419頭（平年42.2頭）と平年のおよそ10倍と多い状況です（図）。

今後の被害の発生に注意が必要です。

1か月予報（7月2日・名古屋地方気象台発表）によると、7月11日以降、気温がかなり高くなる可能性があるとの予想です。

このような状況から、ハスモンヨトウの発生に好適な条件であると考えられます。



（図） フェロモントラップによるハスモンヨトウ成虫の誘殺消長
（調査場所：松阪市嬉野川北町）

4. 防除対策

- (1) 老齢になるに従って薬剤の効果が劣ります。若齢幼虫のうちに防除してください。
- (2) 多発すると防除が困難になるので、早期防除に努めてください。
- (3) 施設では、開口部に防虫ネットを張って、成虫の侵入や産卵を防止してください。
- (4) ダイズでは、圃場をこまめに見回り、白変葉等の発生に注意を払い、初期防除に努めてください。
- (5) 野菜類では、育苗期や定植直後に発生すると被害が大きいのので、こまめに見回り、発生初期の防除に努めてください。
- (6) 花き類では、生長点付近や花蕾を加害されると商品価値がなくなるので、早期発見に努め、登録のある農薬で防除してください。
- (7) 防除薬剤は三重県農薬情報システム (<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/mie>) で検索することができます。



（写真） ハスモンヨトウ幼虫

農薬はラベルの表示を確認して、正しく使用してください。